

# 国内の養鶏場で高病原性鳥インフルエンザの発生が確認されました(今シーズン1例目)!

- 過去最大規模の発生となった令和4年シーズンよりも早い時期での発生です!!
- ウイルスに感染した渡り鳥が国内に広く飛来しています。
- 消石灰散布・入場時の消毒等、予防対策を徹底してください。

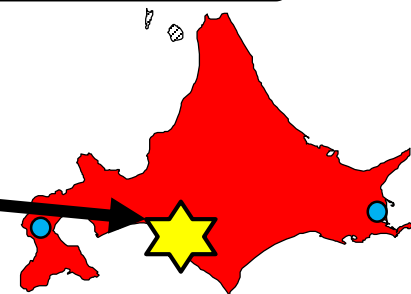
## 高病原性鳥インフルエンザ発生状況 (令和6年シーズン)

### 家きん飼養農場国内1例目

確認日:10月17日

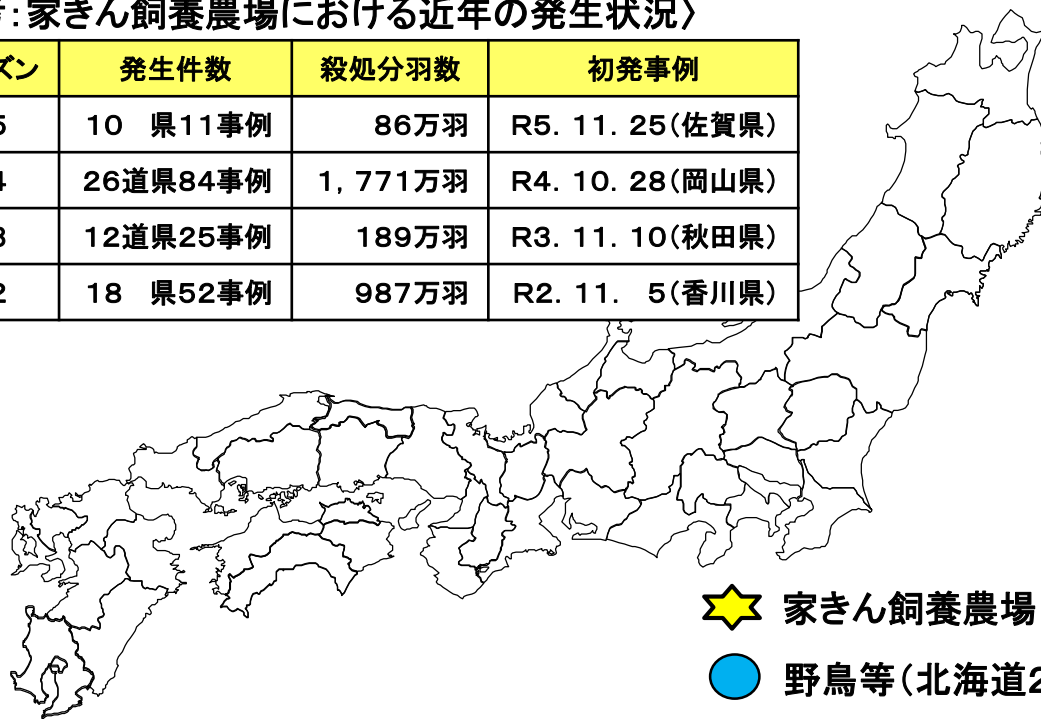
所在地:北海道厚真町

飼養状況:約1.9万羽(肉用鶏)



〈参考:家きん飼養農場における近年の発生状況〉

シーズン	発生件数	殺処分羽数	初発事例
R5	10 県11事例	86万羽	R5. 11. 25(佐賀県)
R4	26道県84事例	1,771万羽	R4. 10. 28(岡山県)
R3	12道県25事例	189万羽	R3. 11. 10(秋田県)
R2	18 県52事例	987万羽	R2. 11. 5(香川県)



★ 家きん飼養農場(北海道1事例)

● 野鳥等(北海道2事例)

- ① 衛生管理区域に立ち入る人・車両等の消毒、区域専用の衣服及び靴の設置
- ② 家きん舎に立ち入る人等の消毒、家きん舎ごとの専用の靴の設置
- ③ 野生動物の侵入防止のためのネット等の設置・点検及び修繕
- ④ 家きん舎周囲、飲水の消毒

**予防対策**

死亡羽数が増える等の異状が見られたら、すぐに下記まで連絡して下さい。

京都府南丹家畜保健衛生所TEL:0771-42-3308(夜間・休日も転送機能で連絡可能)